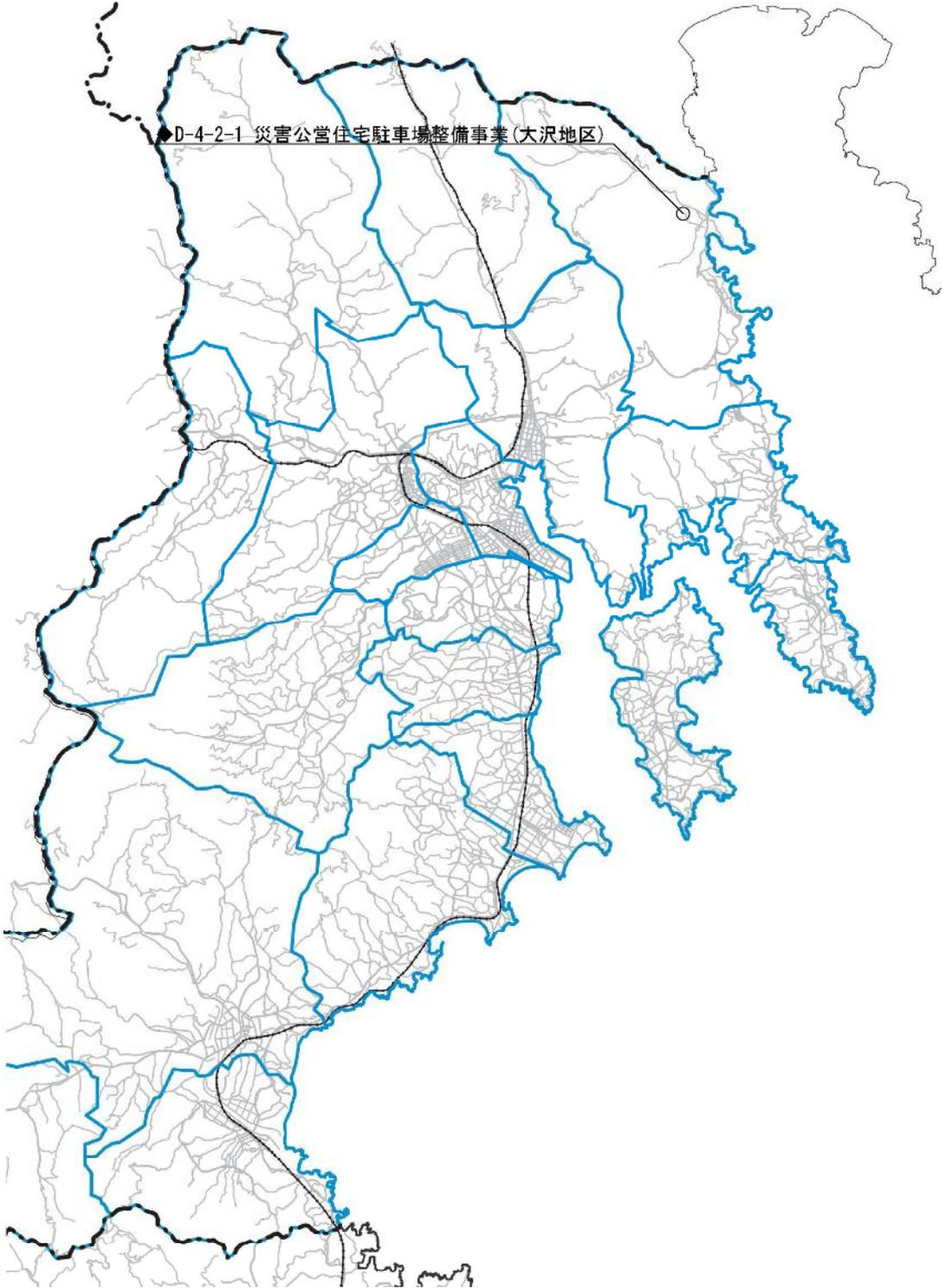


【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-4-2-1 事業名 災害公営住宅駐車場整備事業（大沢地区）
事業費 総額1,620千円（うち国費 1,296千円）※事業費はすべて工事費
事業期間 平成27年度
事業目的・事業地区 市内の唐桑町大沢地区において、災害公営住宅の整備と併せて入居者用の駐車場整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 地区名：大沢地区 駐車区画数6区画 < 整備工事 > 平成27年度 1,620千円 < 供用開始 > 平成27年 8月31日
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・大沢地区における駐車場整備事業では、長屋住宅2戸及び来客用の駐車場整備を行っている。 ・被災者の退居状況等に応じて一般入居の募集を行っており、一定の駐車場需要が見込まれることから、適切な規模で事業が執行されている。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の設計・積算は土木工事標準積算基準等により実施し、気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い業者選定しており、妥当な事業費であると判断される。 ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・大沢地区における駐車場整備事業は、以下のとおりである。 < 想定した事業期間 > 整備工事：平成26年 1月から平成27年 3月まで 利用開始：平成27年 4月 < 実際に事業に有した事業期間 > 整備工事：平成27年 7月から平成27年 8月まで 利用開始：平成27年 8月 ・整備工事は他事業との調整に時間を要し、着手が想定よりも遅れたが、利用開始に必要な工事完了後、災害公営住宅の入居と同時に利用開始できるよう整備を進めたことから、事業手法は概ね適切であったと判断される。
事業担当部局 建設部住宅課 電話番号：0226-22-3426

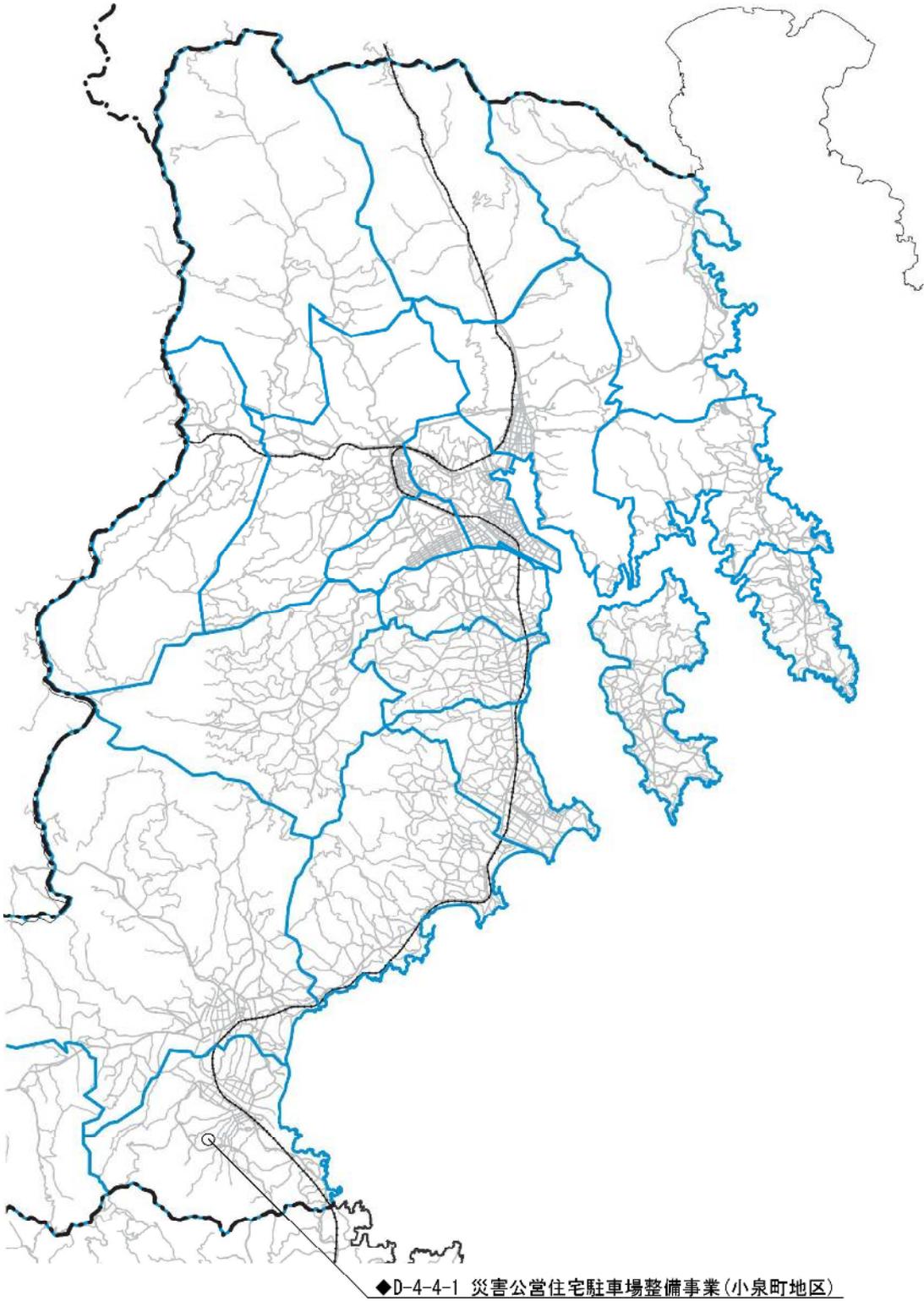
位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-4-4-1 事業名 災害公営住宅駐車場整備事業（小泉町地区）
事業費 総額3,024千円（うち国費 2,419千円）※事業費はすべて工事費
事業期間 平成27年度
事業目的・事業地区 市内の小泉町地区において、災害公営住宅の整備と併せて入居者用の駐車場整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 地区名：小泉町地区 駐車区画数26区画 < 整備工事 > 平成27年度 3,024千円 < 供用開始 > 平成27年 8月21日
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・小泉町地区における駐車場整備事業では、長屋住宅21戸用の駐車場整備を行っている。 ・被災者の退居状況等に応じて一般入居の募集を行っており、一定の駐車場需要が見込まれることから、適切な規模で事業が執行されている。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の設計・積算は土木工事標準積算基準等により実施し、気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い業者選定しており、妥当な事業費であると判断される。 ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・小泉町地区における駐車場整備事業は、以下のとおりである。 < 想定した事業期間 > 整備工事：平成26年 1月から平成27年 3月まで 利用開始：平成27年 4月 < 実際に事業に有した事業期間 > 整備工事：平成27年 7月から平成27年 9月まで 利用開始：平成27年 8月 ・整備工事は他事業との調整に時間を要し、着手が想定よりも遅れたが、利用開始に必要な工事完了後、災害公営住宅の入居と同時に利用開始できるよう整備を進めたことから、事業手法は概ね適切であったと判断される。
事業担当部局 建設部住宅課 電話番号：0226-22-3426

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-4-5-1 事業名 災害公営住宅駐車場整備事業（長磯浜地区）
事業費 総額4,138千円（うち国費 3,309千円）※事業費はすべて工事費
事業期間 平成27年度
事業目的・事業地区 市内の長磯浜地区（長磯七半沢）において、災害公営住宅の整備と併せて入居者用の駐車場整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 地区名：長磯浜地区（長磯七半沢） 駐車区画数23区画 < 整備工事 > 平成27年度 4,138千円 < 供用開始 > 平成27年10月28日
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・長磯浜地区における駐車場整備事業では、長屋住宅23戸用の駐車場整備を行っている。 ・被災者の退居状況等に応じて一般入居の募集を行っており、一定の駐車場需要が見込まれることから、適切な規模で事業が執行されている。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の設計・積算は土木工事標準積算基準等により実施し、気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い業者選定しており、妥当な事業費であると判断される。 ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・長磯浜地区における駐車場整備事業は、以下のとおりである。 < 想定した事業期間 > 整備工事：平成26年 1月から平成27年 3月まで 利用開始：平成27年 4月 < 実際に事業に有した事業期間 > 整備工事：平成27年 6月から平成27年11月まで 利用開始：平成27年10月 ・整備工事は他事業との調整に時間を要し、着手が想定よりも遅れたが、利用開始に必要な工事完了後、災害公営住宅の入居と同時に利用開始できるよう整備を進めたことから、事業手法は概ね適切であったと判断される。
事業担当部局 建設部住宅課 電話番号：0226-22-3426

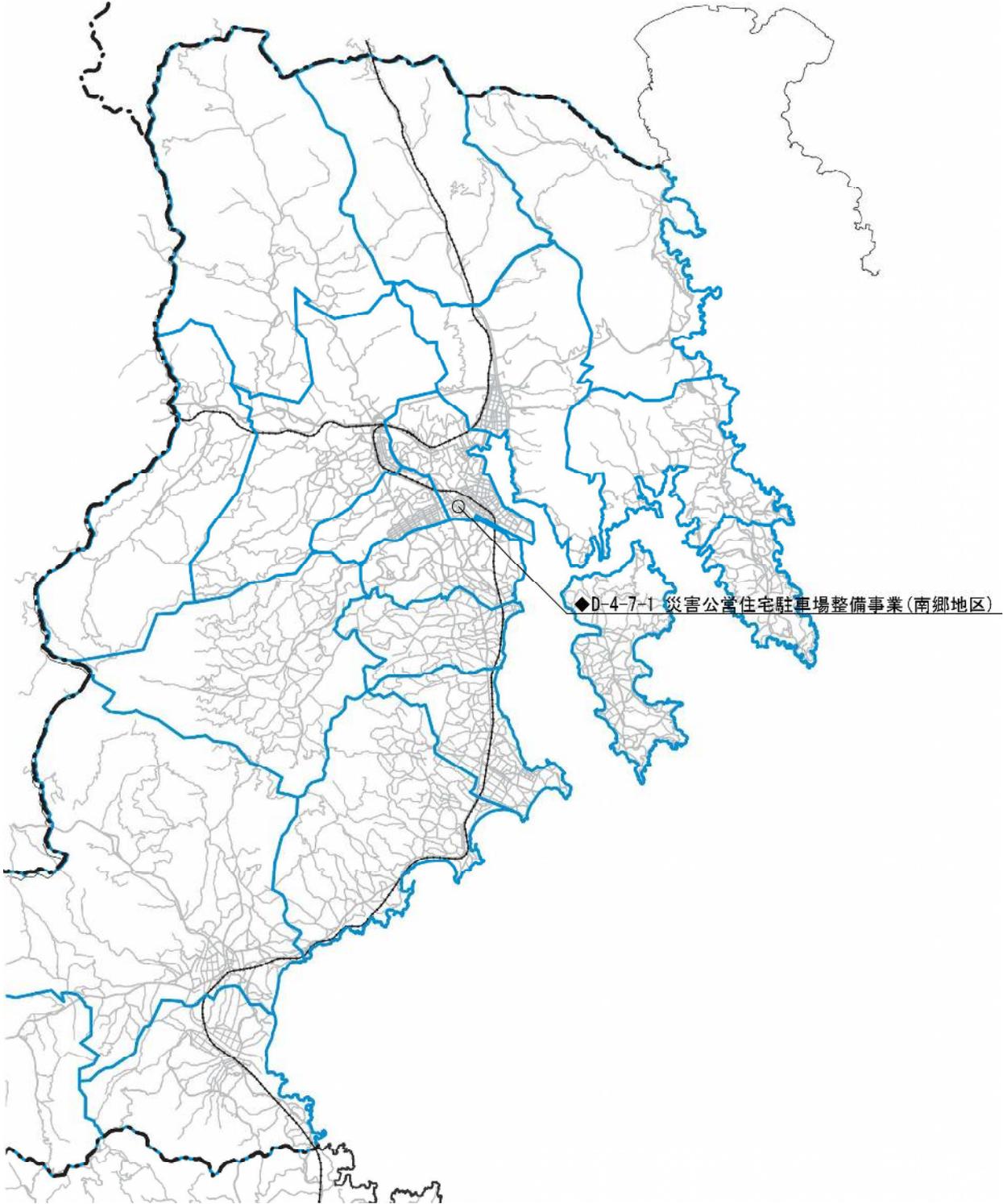
位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆D-4-7-1
事業名	災害公営住宅駐車場整備事業（南郷地区）
事業費	総額23,065千円（うち国費 18,451千円）※事業費はすべて工事費
事業期間	平成25年度から平成26年度まで
事業目的・事業地区	市内の南郷地区において、災害公営住宅の整備と併せて入居者用の駐車場整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果	<p>地区名：南郷地区 駐車区画数182区画</p> <p>＜整備工事＞ 平成25年度から平成26年度まで 23,065千円</p> <p>＜供用開始＞ 平成27年 1月31日</p>
事業の実績に関する評価	<p>①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南郷地区における駐車場整備事業では、集合住宅165戸用の駐車場整備を行っている。 ・被災者の退居状況等に応じて一般入居の募集を行っており、一定の駐車場需要が見込まれるため、適切な規模で事業が執行されている。 <p>②コストに関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地部の中高層住宅は、東日本大震災復興特別区域法第74条に基づき、独立行政法人都市再生機構に災害公営住宅計画を示し実施の要請を行い、設計及び協議を重ね整備した。国土交通大臣の定める標準建設費等に基づき譲渡代金を精査し、譲渡契約を締結しており妥当な工事費であると判断される。 <p>③事業手法に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南郷地区における駐車場整備事業は、以下のとおりである。 <p>＜想定した事業期間＞</p> <p>整備工事：平成26年 1月から平成27年 3月まで 利用開始：平成27年 4月</p> <p>＜実際に事業に有した事業期間＞</p> <p>整備工事：平成25年10月から平成27年 3月まで 利用開始：平成27年 1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備工事は、災害公営住宅の建設工事内にて行っており、想定した期間内に工事完了することができたことから、適切に事業が行われたと判断される。
事業担当部局	建設部住宅課 電話番号：0226-22-3426

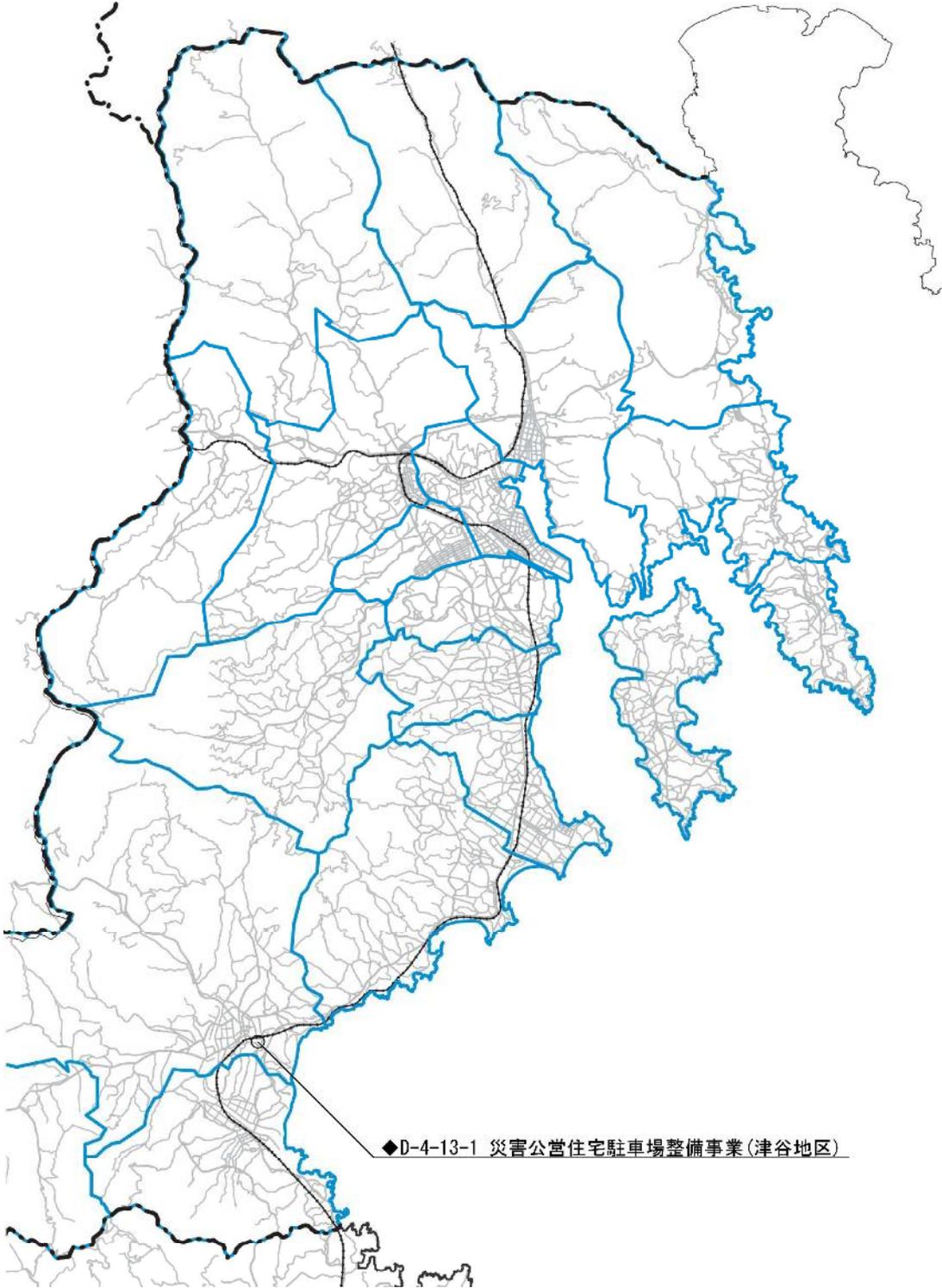
位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-4-13-1 事業名 災害公営住宅駐車場整備事業（津谷地区）
事業費 総額4,349千円（うち国費 3,478千円）※事業費はすべて工事費
事業期間 平成27年度
事業目的・事業地区 市内の津谷地区において、災害公営住宅の整備と併せて居住者用の駐車場整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 地区名：津谷地区 総駐車区画数12区画 津谷下町（8区画） 津谷街（4区画） <整備工事> 平成27年度 4,349千円 <供用開始> 津谷下町 平成27年12月21日 津谷街 平成28年4月21日
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・津谷地区における駐車場整備事業では、長屋住宅11戸用の駐車場整備を行っている。 ・被災者の退居状況等に応じて一般入居の募集を行っており、一定の駐車場需要が見込まれることから、適切な規模で事業が執行されている。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の設計・積算は土木工事標準積算基準等により実施し、気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い業者選定しており、妥当な事業費であると判断される。 ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・津谷地区における駐車場整備事業は、以下のとおりである。 <想定した事業期間> 整備工事：平成26年1月から平成27年3月まで 利用開始：平成27年4月 <実際に事業に有した事業期間> 整備工事：平成27年10月から平成28年3月まで 利用開始：平成27年12月 ・整備工事は他事業との調整に時間を要し、着手が想定よりも遅れたが、利用開始に必要な工事完了後、災害公営住宅の入居と同時に利用開始できるよう整備を進めたことから、事業手法は概ね適切であったと判断される。
事業担当部局 建設部住宅課 電話番号：0226-22-3426

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-4-15-1 事業名 災害公営住宅駐車場整備事業（大島地区）
事業費 総額3,012千円（うち国費 2,408千円）※事業費はすべて工事費
事業期間 平成27年度
事業目的・事業地区 市内の大島地区において、災害公営住宅の整備と併せて居住者用の駐車場整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 地区名：大島地区 駐車区画数5区画 < 整備工事 > 平成27年度 3,012千円 < 供用開始 > 平成28年 3月31日
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・大島地区における駐車場整備事業では、長屋住宅4戸用の駐車場整備を行っている。 ・被災者の退居状況等に応じて一般入居の募集を行っており、今後一定の駐車場需要が見込まれることから、適切な規模で事業が執行されている。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の設計・積算は土木工事標準積算基準等により実施し、気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い業者選定しており、妥当な事業費であると判断される。 ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・長磯浜地区における駐車場整備事業は、以下のとおりである。 < 想定した事業期間 > 整備工事：平成26年 1月から平成27年 3月まで 利用開始：平成27年 4月 < 実際に事業に有した事業期間 > 整備工事：平成27年12月から平成28年 3月まで 利用開始：平成28年 3月 ・整備工事は他事業との調整に時間を要し、着手が想定よりも遅れたが、利用開始に必要な工事完了後、災害公営住宅の入居と同時に利用開始できるよう整備を進めたことから、事業手法は概ね適切であったと判断される。
事業担当部局 建設部住宅課 電話番号：0226-22-3426

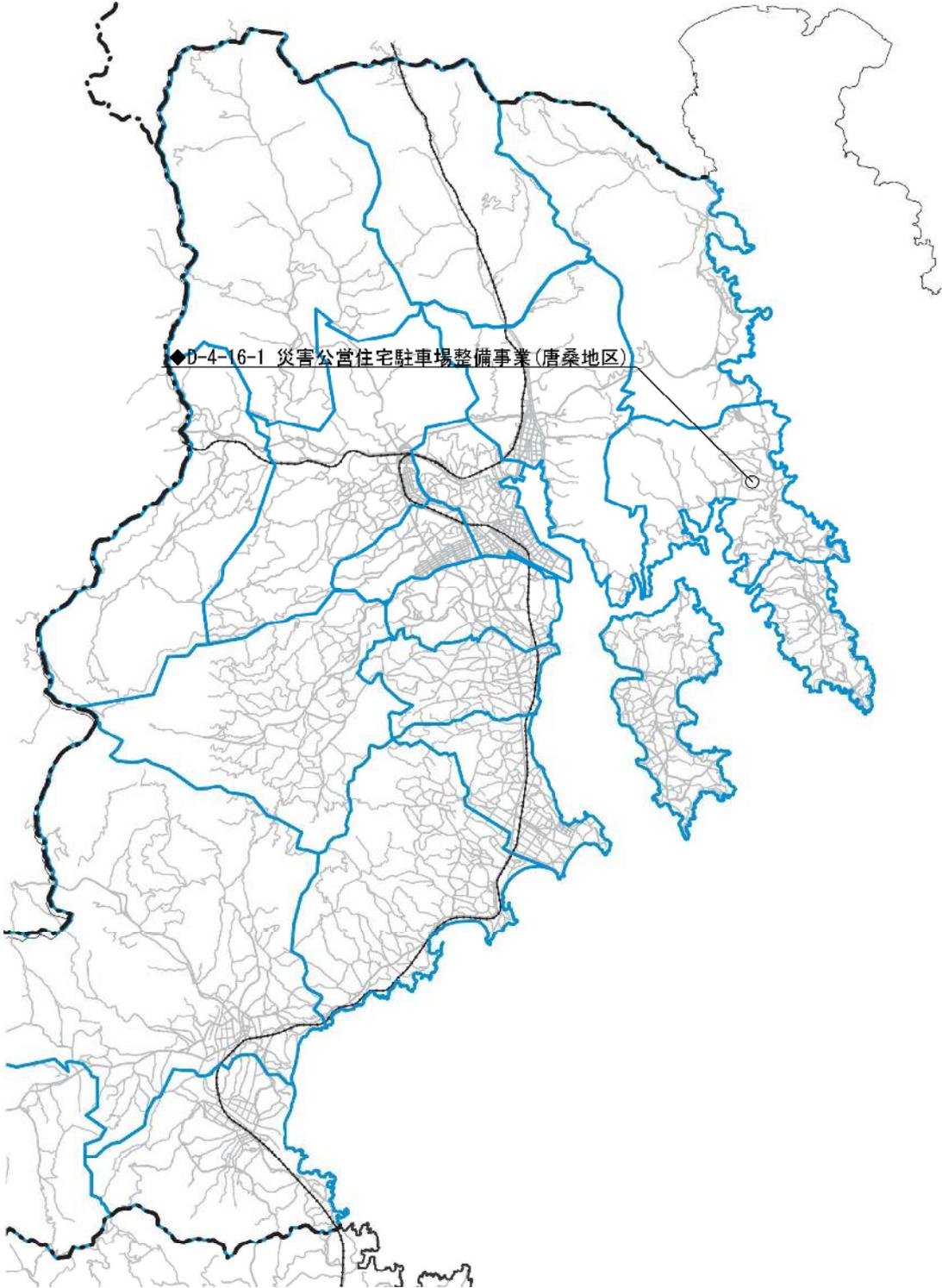
位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-4-16-1 事業名 災害公営住宅駐車場整備事業（唐桑地区）
事業費 総額1,404千円（うち国費 1,123千円）※事業費はすべて工事費
事業期間 平成28年度
事業目的・事業地区 市内の唐桑地区において、災害公営住宅の整備と併せて居住者用の駐車場整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 地区名：唐桑地区（宿明戸） 駐車区画数4区画 < 整備工事 > 平成28年度 1,404千円 < 供用開始 > 平成29年 1月30日
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・唐桑地区（宿明戸）における駐車場整備事業では、長屋住宅3戸用の駐車場整備を行っている。 ・被災者の退居状況等に応じて一般入居の募集を行っており、一定の駐車場需要が見込まれることから、適切な規模で事業が執行されている。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の設計・積算は土木工事標準積算基準等により実施し、気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い業者選定しており、妥当な事業費であると判断される。 ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・唐桑地区（宿明戸）における駐車場整備事業は、以下のとおりである。 < 想定した事業期間 > 整備工事：平成26年 1月から平成27年 3月まで 利用開始：平成27年 4月 < 実際に事業に有した事業期間 > 整備工事：平成28年 11月から平成29年 1月まで 利用開始：平成29年 1月 ・整備工事は他事業との調整に時間を要し、着手が想定よりも遅れたが、利用開始に必要な工事完了後、災害公営住宅の入居と同時に利用開始できるよう整備を進めたことから、事業手法は概ね適切であったと判断される。
事業担当部局 建設部住宅課 電話番号：0226-22-3426

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆D-4-18-1
事業名	災害公営住宅駐車場整備事業（四反田地区）
事業費	総額16,577千円（うち国費 13,261千円） （内訳：設計費2,135千円，工事費14,442千円）
事業期間	平成25年度から平成28年度まで
事業目的・事業地区	市内の四反田地区において，災害公営住宅を建設するに伴い，入居者用の駐車場整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果	地区名：四反田地区 駐車区画数84区画（当初73区画＋追加11） <調査測量設計> 平成25年度から平成28年度まで 2,135千円 <整備工事> 平成25年度から平成28年度まで 14,442千円 <利用開始> 平成27年 9月29日
事業の実績に関する評価	①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・四反田地区における駐車場整備事業では，集合住宅70戸用の駐車場整備を行っている。 ・被災者の退居状況等に応じて一般入居の募集を行っており，一定の駐車場需要が見込まれるため，適切な規模で事業が執行されている。 ②コストに関する調査・分析・評価 ・市街地部の中高層住宅は，東日本大震災復興特別区域法第74条に基づき，独立行政法人都市再生機構に災害公営住宅計画を示し実施の要請を行い，設計及び協議を重ね整備した。国土交通大臣の定める標準建設費等に基づき譲渡代金を精査し，譲渡契約を締結しており妥当な工事費であると判断される。 ・一部の駐車場整備について，設計・積算は土木工事標準積算基準等により実施し，気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い業者選定しており，妥当な事業費であると判断される。 ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・四反田地区における駐車場整備事業は，以下のとおりである。 <想定した事業期間> 測 量 設 計：平成25年 4月から平成25年 6月まで 整 備 工 事：平成25年 7月から平成26年12月まで 利 用 開 始：平成27年 1月

<実際に事業に有した事業期間>

測 量 設 計：平成25年10月から平成28年 5月まで

整 備 工 事：平成25年10月から平成28年12月まで

利 用 開 始：平成27年 9月

- ・整備工事は災害公営住宅の建設工事の中で行っており、事業期間が想定よりも延びたが、利用開始に必要な工事完了させた後、ただちに利用開始できるよう整備を進めたことから、事業手法は概ね適切であったと判断される。

事業担当部局

建設部住宅課 電話番号：0226-22-3426

位置図

